



**寺岡 公章**

- 生涯学習課を社会教育課に戻しませんか

**日域 究**

- 成年後見制度に要注意
- 民生委員さんにも報酬を

**原田 孝徳**

- 第7波の影と今後への備え

**末広 天佑**

- 自治体システム標準化への対応について

**小中 真樹雄**

- 「拉致関連本」の充実依頼について問う

**西村 一啓**

- 小方地区まちづくり基本構想の今後の取組みについて
- 新大竹駅と周辺整備の連携について

生涯学習課を  
社会教育課に戻しませんか



**寺岡 公章**

**問** 社会教育と生涯学習は、誤解され混同して扱われる場面が多くありますが、明らかに違うものを指しています。教えるものは誰か、学び習うのは誰か、主語からして異なります。この際、それぞれについてその目的や役割を整理し、より円滑な学社連携につなげましょう。

まずは過去に課名変更した意図を細解き、学習指導要領の把握具合、生涯学習の連続性、組織性、教育行政従事者としての認識について現状やお考えをうかがいます。

その上で、例えば生涯学習分野は係とし、社会教育課か自治振興課に置いてはどうか提案します。

有機的な学社連携についての考え方、学習の成果の確認方法についてもお答えください。

**答** 生涯学習課は、設置当時、国や県が積極的に生涯学習の基盤整備などを進めており、市民の生涯学習活動を支援する組織として設置したと考えられます。

今後は、生涯学習と社会教育の違いなどを考察し、どのような組織体制が望ましいかを議論していく余地があると考えています。

また、市民一人ひとりが、乳幼児期から始まり青年期、成人期、高齢期へと一貫性を持って継続的に学習していけるよう、学校や関係部局と連携しながら支援の場や機会を提供することが教育行政の役割であると認識していますが、生涯学習課職員の学習指導要領の把握など、実態として十分な状況とは言えないことから、より深く掘り下げた事業展開ができるよう取り組みます。



生涯学習課のある市総合市民会館



日域 究

成年後見制度に要注意

**問** 先月NHKクローズアップ現代で成年後見制度の落とし穴的な番組が流されました。大竹市社会福祉協議会でも司法書士さんの同種の講演会が開かれました。ともにテーマはこの制度の持つ問題点です。一方で成年後見制度利用促進法があつて、大竹市にも促進の役割が与えられています。

**答** 国が変なものを作つて地方が困るパターンですが、認知症でも後見人を使わずに施設と契約している実態もあり、単純に促進ではないと思います。市の対応をお尋ねします。

**答** 成年後見制度には、判断能力を失つても財産保護や生活支援がなされるなどの利点がある一方で、財産管理や報酬面で制約的な要素もあります。

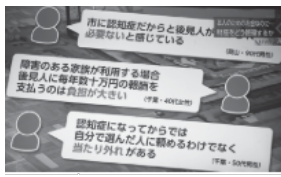
この制度に限らず、いくつかの選択肢から最善の制度を選択してもらえよう、市内事業所などと連携して相談しやすい支援体制を構築するとともに、分かりやすい制度の周知・啓発に努めます。

民生委員さんにも報酬を

**問** 介護保険開始で福祉はビジネスになりました。民生委員さんだけが無報酬で良いのですか。お考えを。

**答** 民生委員・児童委員は非常勤の公務員として、地域の皆様の立場に立ち、社会福祉活動の重要な役割を担っていただいています。しかしながら、法律に「給与を支給しない」との規定があり、市が独自に報酬を支給することは難しいと考えます。

地域活動を取り巻く環境の変化をふまえて、交通費や通信費などに充てる活動費や、活動そのものの負担軽減など、民生委員の意見も伺いながら研究・検討していきたいと考えています。



NHK クローズアップ現代より



原田 孝徳

第7波の影と  
今後への備え

**問** ①本市において、これまで一度でも「〇」に感染した人はトータルで何人か。②本市における第7波の感染状況や感染経路を分析し、どのような対策や対応をしてきたか、今後はどのような備えが必要か。③廿日市市と比べ、人口の割に本市の感染者数は多いと感じるが、数字の面ではどうか。④ワクチンを接種した人と未接種の人の重症化率の比較。⑤無症状の人の無料のPCR検査は、廿日市市まで行かなければ受けられないため、感染者数が実数かどうか疑問であるかどうか。そのために感染が広がっているというのではないか。⑥一部の介護施設では抗原検査キットの不足が問題になっているが、本市ではそのような問い合わせはないか。

以上6点について問います。

**答** ①11月末までの新規報告者数累計は4,171人です。②個別の感染経路など非公表のため、詳細の分析はできませんが、県の公表によると、県内PCRセンターにおける陽性者の約6割は家庭内感染と推定され、約2割は感染経路不明という状況です。今後もワクチンの接種勧奨と基本的な感染防止対策の継続が重要と考えます。③11月1日現在の人口に占める9月から11月までの新規報告者数の割合を比較すると、大竹市のほうが少ない数値（廿日市市6・07%、大竹市5・65%）です。ただしこの割合は毎月変動するため、大竹市のほうが多い月もあります。④県の第7波データ分析によると、60歳以上で2回目・3回目を接種している場合、「ワクチン接種による効果は継続して示唆される」となっています。⑤両市の感染者数の割合に大きな差はなく、関連はないと考えます。⑥そのような問い合わせはありません。



集団接種会場（西医療）



PCR検査場（廿日市市）





末広 天佑

自治体システム  
標準化への対応について

**問** 自治体ごとに異なる行政システムを2025年末までに統一することを政府が閣議決定しました。

そのことで始まった自治体システムの標準化（標準準拠システムへの移行）ですが、様々な課題を抱え、全国自治体には多大な負担がかかっているとの報道されています。

事務の効率化やシステムの運用コストのダウンを目的としていますが各自治体が個別で抱える問題に対応できず、逆にコストや職員への負担が増えることも懸念されています。そのような状況の中で、大竹市ではどのような体制、計画で推進されているのかお伺いします。

**答** 現在、本市の主な標準化対象事務の現行システムは、県内6市町が共同で運用している広島県市町基幹業務クラウドサービスを導入していることから、標準準拠システムへの移行についても、国が目標に定めている令和7年度末までに移行できるよう6市町やシステム事業者と移行スケジュールについて調整を図っています。また、庁内においても関係課会議を開催するなど、作業を進める体制も整える予定です。

総務省が示す自治体DX重点取組項目



小中 真樹雄

「拉致関連本」の  
充実依頼について問う

**問** 新聞報道によると、文部科学省は8月30日付で、内閣官房拉致対策本部からの要請を受け、公立図書館や学校図書館などで

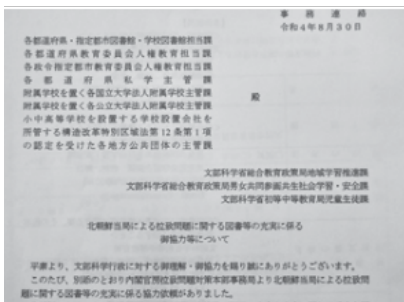
拉致問題に関する本の充実に協力するよう各都道府県教育委員会などに事務連絡したといまます。これに対し、公益社団法人「日本図書館協会」は「図書館の自由に関する宣言を脅かすものであると懸念する」との意見書を文部科学省に出したそうです。

そこで市教委にお尋ねします。この事務連絡にどんな見解を持ちどう対応されますか。さらに限られた図書購入費から、特定分野への経費投入は利用者としても疑問に思います。関連して市立図書館や学校図書館の年間の図書購入費の額や購入図書の選定方法についても教えてください。

**答** 国の見解どおり「単なるお願い」と解釈しており、既に通知内容について各学校図書担当者や市立図書館へ周知しています。この通知を受けて拉致問題を取り上げた図書の購入や展示などの企画予定はありません。

市立図書館の令和3年度購入額は約740万円です。選定方法は、図書館流通センター発行の新刊案内などを活用し、司書職員が選書しています。市民からリンクエラストのあった図書も一部購入しています。

学校図書館の令和3年度購入額は小学校で約150万円、中学校で約117万円です。選定方法は、その年の課題図書や既に購入しているシリーズ本の続編のほか、児童生徒からリンクエラストのあった本を図書担当の教諭が中心となり選書しています。



文部科学省 8月30日付事務連絡



西村 一啓

小方地区まちづくり  
基本構想の今後の  
取り組みについて

**問** 旧小方小、中学校の跡地活用を中心に小方まちづくりの基本構想は今後どの様に取組んでいくのか、併せて小方新駅について伺う。

**答** 今後は、小方地区のまちづくり基本構想の核となる小方新駅の整備に道筋をつけることに注力していく必要があると考えています。基本構想の実現に向けて、優先順位を見極めながら段階的に取り組みを進めていきます。



おおたけPRキャラクター「コイちゃん」



岩国・大竹道路の建設状況

新大竹駅と周辺整備の  
連携について

**問** 今後完成予定の新駅周辺の整備や東西通路を挟む油見西栄線の街路計画、駅前商店街の賑わいづくりへの取り組みについて伺う。

**答** 大竹駅周辺整備事業では、令和4年度末までには東西を結ぶ自由通路が開通し、駅の橋上化も完成する予定で、JR本線を挟む東西の市民の利便性が向上します。また、商店街の方には、商業活性化事業への補助制度を活用し、新しい駅前広場でのイベントなど、駅前商店街の盛り上がる仕組みを構築していただきたいと思います。

第6回市議会（定例会） 議案の審議結果表（主な議案）

議案など	賀屋幸治	末広天佑	藤川和弘	原田孝徳	小中真樹雄	中川智之	小田上尚典	北地範久	西村一啓	和田芳弘	網谷芳孝	児玉朋也	山崎年一	日域 究	細川雅子	寺岡公章	審議結果
認第5号 令和3年度大竹市一般会計決算	—	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	認定
認第11号 令和3年度大竹市介護保険特別会計決算	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	認定
議案第50号 大竹市穂仁原水辺の広場設置及び管理条例の制定について	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第51号 大竹市給食費条例の制定について	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第56号 大竹市漁港管理条例の一部を改正する条例の一部改正について	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第63号 大竹市営住宅等の指定管理者の指定について	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第64号 令和4年度大竹市一般会計補正予算（第7号）	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第68号 令和4年度大竹市一般会計補正予算（第8号）	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

この表は本会議で採決のあと、本人の申告にもとづいて作成したものです。

—：議長 ○：賛成 ●：反対 欠：欠席 棄：棄権